

『イギリス留学で得た経験と成長』

氏名：喜屋武幹大

所属：国際文化学部・国際文化学科・4年

派遣留学先：ランカシャー大学(イギリス)

派遣留学期間：2025年9月～(半年)

私が留学を決めた理由は、異文化の中での経験を通して、将来グローバルに活躍できる人材に成長したいと考えたからです。近年、インバウンドの増加により、語学力だけでなく異文化理解の重要性を強く感じるようになりました。実際に海外で生活し、多様な価値観に触れることで、国際感覚を身につけ、現代社会に貢献できる力を身につけたいと考え、留学を決意しました。

留学先はイギリスのランカシャー大学で、約4か月間滞在しました。留学生向けの「Study Overseas Programme」を受講し、英語やイギリス文化を中心に学びました。授業を受ける中で、日本の授業との大きな違いを感じました。イギリスの授業では、教員が学生を名指しして意見を求めたり、学生同士でディスカッションを行ったりするなど、主体的な参加が求められます。

より学びを深めるため、他の授業を聴講したり、外国人の学生と積極的に交流したりするようになりました。聴講したプログラム以外の授業では、専門的な内容が扱われており、英語で聞き取ることは容易ではありませんでしたが、英語で学問を学ぶ姿勢に触れたことは大きな刺激となりました。

また、イギリスや韓国、中国など、さまざまな国籍の友人を作ることができました。一緒にご飯を食べに行ったり、大学併設のジムに行ったり、図書館で勉強をしたりとたくさんの時間を共に過ごしました。こうした教室外での交流を通して、異文化理解は日常的なコミュニケーションの中で深まるものだ実感しました。

今回の留学を通して、異文化環境の中でも自ら行動し、積極的に挑戦する姿勢が大切だということを実感しました。この経験で得た語学力や異文化理解力を、今後の学業や将来の進路に活かしていきたいと考えています。

